

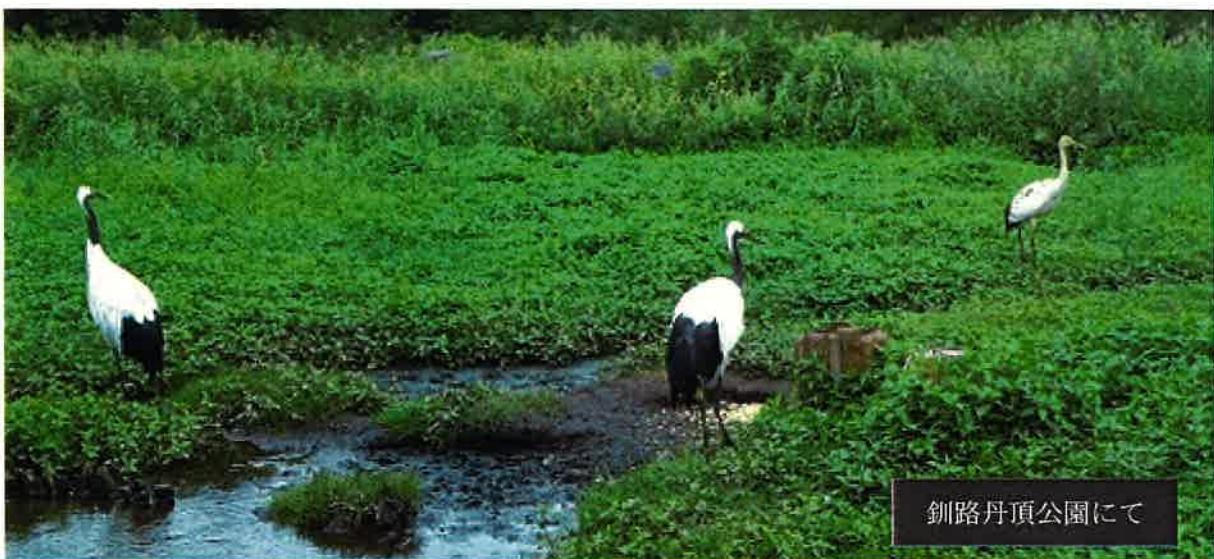
NO 129

平成26年11月1日

# 北海道

## 碎石だより

一般社団法人日本碎石協会北海道地方本部



釧路丹頂公園にて



道本部・連合会  
第二回理事会開催  
釧根支部管内（釧路市）

第二回北海道地方本部・北海道碎石協同組合連合会理事会を九月十八、十九日の両日、釧根支部管内釧路市で開催しました。

理事会開催に当たり、岡本北海道地方本部長・連合会会長は、はじめに両理事会開催をお引き受け頂いた天方釧根支部長、釧路骨材販売協同組合曾我部理事長に感謝のお言葉が述べられた。次に骨材業界の実情について、自民党政権になりデフレ経済からの脱却をめざした政府の経済対策の効果から、長く低迷してきた骨材業界にも幾分なりとも好況感が感じられるようになってきた。しかし、業界にとつて失われた20年分を取り戻すには遠く及ばないのが現実であり、今しばらくこの経済対策が継続される必要があると話された。

来年3月末に期限切れを迎える軽油引取税課税免除措置の延長問題については、現在、本部、道本部は軽油引取税課税免除措置の更なる継続に向けて自民党税調や関係機関に要望活動を行っているが、法人税減税対策の財源問題等から非常に厳しい状況にあると聞いており、本部・道本部・支部が連携しながら地元国會議員や関係する行政機関等へ更に要望活動を行うことが必要であり、各支部の一層の協力をお願いされました。

安全問題では、今年に入り死亡災害が6件と多発しており、一件は9月15日に北海道地方本部管内で発生した。安定した企業経営を持続させていくためには、技術の改善によるコストの削減と同時に労働安全の確保が最重要課題であり、死亡災害ゼロに向けた取り組みの強化を要請されました。

挨拶の最後に、釧路市で開催した理事

会で支部会員の皆さんのが声を聴き、意見交換したことを道本部へ持ち帰り、今後の活動につなげていくと挨拶を結きました。

理事会では、各支部の景気動向につ

いて熱心な意見交換が行われ、各支部管内ともに、政府の景気対策により一定の効果が表れてきていると言えるが、消費税の値上げ、電気料金の再値上げ、軽油引取税課税免除措置の延長問題等生産コストの高騰が想定されること

から、製品販売価格の値上げと積算価格の見直しについて関係機関に対して要望していく必要があるとの意見が聞かれました。

翌19日は、素晴らしい秋晴れの中、道本部・連合会理事、釧根支部会員・釧根支部賛助会員による親睦ゴルフコンペを名門ゴルフコースと言われる、釧路カントリークラブ（鶴居東コース）

で行いました。

栄えある優勝は地元の利と実力をいかんなく發揮された、

(株)丸物出口興産 出口 廣樹氏が飾りました。



### 第41回全国碎石技術大会（横浜）開催 全国碎石フォーラム2014

平成26年10月16日～18日の3日間、第41回全国碎石技術大会が横浜市神奈川県

民センターで来賓をはじめ四百名の会員・賛助会員参加のもとで開催され、井上会長は開催に当たり、これまでの会員各社の技術の研鑽、賛助会員の永きにわたり後援に感謝と敬意を表されるとともに、発表課題が徐々に増えてきたことに關し、日本政府の経済対策が功を奏し会員企業にもやる気が出てきている証ではないか。また、今年度多発している死亡

災害には、本部

がこれまで取組  
んできた各種安  
全対策を取り入れ、  
死亡災害を発生  
させない取組の  
強化を訴えられ  
た。



フォーラム発  
表課題の「労働  
災害の撲滅に向  
けて」重機・B  
C災害防止対策  
の事例報告」、基調講演の「労働災害の  
撲滅に向けて」碎石業の労働災害の本  
質と対策」、「会員各社の労働災害撲滅  
への取組事例報告」は特別企画であり、  
会員各社がこれら発表を参考にして労  
働災害撲滅に取り組むことで死亡災害  
が減少し、更には労災保険料率も軽減

すると強調された。

軽油引取税課税免除措置延長問題にふ  
れられ、减免措置延長については本部、  
各地方本部・各支部が関係する団体と  
連携し要望活動を行っている。情勢は  
厳しいが今一度力を合わせ頑張つてい  
くと決意表明された。

特別企画発表の「労働災害の撲滅に  
向けて」では、碎石協会はこれまで労  
動災害防止対策として、①ベルトコン  
ベア灾害防止対策（同マニュアル）、  
②重機灾害対策（同マニュアル）、③  
碎石業におけるリスクアセスメント導  
入指針の作成に取り組んできている。  
碎石協会ではこれまで発生した死亡災  
害の事故分析を行った上で、理事会に  
おいて次の災害防止対策に取り組むこ  
とが決定している。

①碎石場における重機灾害防止に向け  
た安全講習（協会認定講習の制度化）

②掘削作業主任者を対象とした再教  
育講習

③専門家による死亡災害事故の現場  
調査、原因分析、対策提案

特別発表の終わりに、これら3項目  
の労働災害撲滅に向けた方針を実施  
に移し、安全な職場づくりを目指すこ  
とを参加者総意で決議されました。



懇親会場ホテルモントレ横浜にて  
岡本副会長(道本部長)祝杯のご挨拶



## 平成二十六年度

一般粉じん関係公害防止管理者

### 認定講習開催



(一社)日本碎石協会が主催する一般粉じん関係公害防止管理者資格認定講習が10月24日・25日の両日、北海道建設会館で開催されました。

講師には、早稲田大学の名古屋先生と村田先生、(一社)日本碎石協会友田専務理事が担当され、全国各地から54名の申込みがあり、二日間の講習を熱心に受講されました。

### 今後の行事予定

- 12/9 道本部・連合会  
正・副本部長会長会議  
第3回合同理事会  
(東京ドームホテル札幌)  
平成27年  
1/16 北海道国有林採石協会  
第2回役員会  
(東京ドームホテル札幌)  
2/25 (水)～26(木)  
採石のための掘削作業主任者  
技能講習 (かでる2・7)

### 「編集後記」

遅くなりましたが、会員の皆様のお手元に今年度第二号の「北海道碎石だより」をお届けいたします。今年は、道本部、連合会の理事会を釧路市で開催いたしました。釧路支部の皆様大変お世話になりました。お礼申し上げます。  
日に日に寒くなり現場の作業者は厚着となり、動きが鈍くなりますので安全作業に一層努められるようご指導ください。  
「北海道碎石だより」に各地区の近況について寄稿していただきますようお願いします。

## 「軽油引取税課税免除措置延長要請 道本部活動」

軽油引取税課税免除措置が平成26

年度末で終了することから、道本部では昨年度砂利協会と連名で行つた減免措置延長行動を今年度は北海道中小企

業団体中央会長、北海道経済産業局鉱業課長、北海道知事に対して減免措置延長を要望しました。

懇談会には道内選出国會議員、道連役員、道連政調会長、関係道議会議員が出

席され、各団体の要望案件を今後の政策立案、予算編成に反映させていくと応じられておりました。

が、北海道砂利工業組合からは福井副理事長と坂本専務理事が出席し、岡本本部長が骨材業界の実情を説明するとともに減免措置延長を要望しました。